

2022 年 12 月 6 日

仮 Dawex(ダウェックス)と IDSA、Gaia-X による初のデータ取引仕様書の公開を歓迎 強力で安全、信頼性が高く、主権的な欧州データ経済発展への一步

データ取引の指針を定めた、Gaia-X データ取引サービス仕様書 Gaia-X データ取引サービスワーキンググループメンバーによる緊密な協力の成果で完成

2022 年 11 月 28 日(パリ)、[データ取引](#)、[データ取引所](#)、[データハブ](#)のリーディングカンパニーであるフランスの [Dawex\(ダウェックス\)](#) と、信頼できるデータ共有の世界標準を定義する International Data Spaces Association ([IDSA](#)) は、[Gaia-X\(ガイア-エックス\)](#) データ取引サービス ワーキンググループのリーダーおよび共同リーダーとして、2022 年 11 月 28 日、[Gaia-X Data Exchange Services Document](#) (Gaia-X データ取引サービスに関する仕様書) を初めて発行したことを称賛し、ワーキンググループメンバーの活発な貢献と特別な節目を達成したことに対する意を表しました。

Gaia-X データ取引サービスに関する仕様書は、データ取引のための語彙や、データ取引サービスの定義、データ取引のための概念および運用モデル、データ取引に関するポリシー、オントロジーを定め、データ経済への信頼、相互運用性、発見性、追跡可能性を実現するための文書です。

Gaia-X によるデータ取引サービス仕様書の発行は、データ取引サービスに携わったワーキンググループメンバーによる緊密な協力によってもたらされた成果です。このグループは、テクノロジー、クラウド、金融、通信、自動車、エネルギーなど多様な業界を代表する 8カ国の大企業・組織を集め、6ヶ月間熱心に取り組み、データ取引のための包括的な仕様書を完成させました。

また、今回の発表は、データエコシステムを構築するための指針を定義した文書「[Gaia-X Architecture](#)」と「[Gaia-X Trust Framework](#)」の発表に続くものです。

Dawex 共同 CEO である ロラン・ラファエ(Laurent Lafaye)は次のように述べています。
「Gaia-X データ取引サービスワーキンググループの参加メンバー全員が、データ取引の原則を構造化し定義するためのガイドラインの作成に携わったことは素晴らしいことだと思います。また、Gaia-X の最新の成果物は真のブレークスルーであり、強力で弾力性のある欧州データ経済を構築するための礎となるものです。この非常に協力的でオープンな作品は、信頼できるデータ経済を求める世界中の人々のインスピレーションの源となるに違いありません。」

また、IDSA の CTO セバスチャン・スタインブス(Sebastian Steinbuss) 氏は次のように語っています。
「データ取引ワーキンググループは、Gaia-X Trust Framework に基づき、IDSA やその他の既存の仕様を参考しながら、インフラストラクチャのエコシステムとデータのエコシステムがどのように互いに接続されるかを共通認識とし、欧州や世界各地でのデータ空間の発展を可能にします。このコミュニティの一員であることを嬉しく思います。」

Dawex について

今日の経済では、データは独自の価値と新しい収益源を備え、無限の可能性を秘めた製品に成長しました。[Dawex](#) テクノロジーを活用すると、組織は規制要件、トレーサビリティやセキュリティの課題に対応したデータ取引プラットフォームを中心に、新しいエコシステムを築くことができます。[Dawex](#) はデータ取引、データ取引所、およびデータハブ分野を代表するテクノロジー企業であり、データのソーシング、配布、取引の統括を可能にします。2020 年世界経済フォーラムの「[Technology Pioneer](#)」を受賞した Dawex は、[Gaia-X](#) の活発なメンバーでもあります。2015 年に創業した Dawex は、本社をフランスに構え、欧州、アジア、北米、中東へと事業を拡大しています。

IDSAについて

International Data Spaces Association (IDSA)は、グローバルなデジタル経済の未来を創造することを使命としています。130 を超える会員企業・機関が、インターナショナル・データ・スペース・アーキテクチャ(IDS)とよばれる、すべての参加者がデータの価値を最大限に実現できる、主権的かつ信頼できるデータ取引の仕組みを構築しています。IDSは、データのコントロールがデータ提供者側の手中にあることを保証しながら、新しいスマートサービスや革新的なビジネスプロセスが企業や業界を越えて機能することを可能にします。IDSA ではこれを、データ主権(data sovereignty)とよんでいます。詳しくはウェブサイトをご参照ください: internationaldataspaces.org

本件に関するお問い合わせ

フランス大使館 貿易投資庁-ビジネスフランス 松木 03-5798-6149 | asako.matsuki@businessfrance.fr